



南島原市議会議長  
川田典秀

## 「豊かで活力ある南島原市」 の実現を目指して

新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えたいと決意を新たにしております。

市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお健やかに迎えたいと決意を新たにしております。ことと心からお慶び申し上げます。日ごろから、市議会に対する温かいご理解とご支援をいただき、厚くお礼を申し上げます。

私は、昨年9月に議長に就任して初めての春を迎えたところでありますが、改めてその責任の重大さを痛感すると共に、南島原市のより一層の発展のため、誠心誠意努めてまいります。

さて、昨年を振り返りますと、本市にとりまして、大きな事業や出来事がめぐる押ししの一年でありました。中でも、平成遣欧少年使節団の派遣事業をはじめとする口之津開港450年記念事業は、「南島原市」を日本はもとより世界に向け発信するものとなりました。5月には、島原半島3市の行政や市民が一体となって取り組んだ「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」が開催され、国内外の多数の参加者

から高い評価をいただき、私たちの「身近な自然や日々の営み」が、世界に認められた意義深い大会となりました。また、11月に開催された大相撲九州場所では、加津佐町出身の佐田の富士関が、見事に十両初優勝を果たすという、本市にとりましても、大変喜ばしいニュースもありました。このように昨年一年間の出来事を思い返しますと、その一つひとつが、市民がふるさとへの思いや地域の絆というものを再認識し、市民の一体感の醸成につながったのではないかと思います。

一方、国においては、昨年末、衆議院議員総選挙が行われました。超高齢社会を迎え生産年齢人口の減少が進む中で、社会保障制度を持続可能なものとして将来世代にいかに行き継いでいくのか、原発・エネルギー問題、憲法と外交・安全保障問題、環太平洋連携協定（TPP）などいどのような方針をもって臨むのが争点としてクローズアップされました。いずれも、将来の国のかたちに関わる重大なテーマであり、地方行政にとりましても、多大な影響のある問題であります。さらに11月には、地域のことは地

域に住む住民が責任を持って決められるようにするための「地域主権推進大綱」が閣議決定されました。このように、地方自治体を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えており、地方自治体の意思決定機関である議会の責務は、ますます重大なものになると考えています。本市においても、市民の生活圏域の拡大や高度情報化社会への対応、少子・高齢化社会を迎えての子育て支援や介護保険をはじめとする保健福祉の充実、環境問題やゴミ処理対策などの行政課題が山積しております。

私たちは、今こそ南島原市のおかれた現状を直視し、そして市の未来について熟考し、「豊かで活力ある南島原市」の実現を目指し、行動していく必要があると考え、日々議論を重ねてまいります。どうか、市民の皆さまにおかれましても、今まで以上に温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、ご健勝で、実り多い年でありますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、私たちにとって嬉しい出来事が数多くございました。まず、昨年10月に開催された、全国和牛能力共進会において、本県代表牛が肉牛の部で最高賞にあたる内閣総理大臣賞を受賞し、日本一の栄冠に輝きました。今後は長崎和牛「日本一」を全国に向けてPRするとともに、品質の高い長崎和牛の生産拡大など、

肉用牛の生産振興にも一層力を入れてまいりますので、皆さまにはこれまで以上に長崎和牛のご愛用をよろしくお願いいたします。さらに嬉しいことに、V・ファアレン長崎がJFLで見事優勝し、念願のJ2昇格を果たしました。これもひとえに熱心にご支援いただいた皆さまのおかげであり、心から感謝申し上げます。

皆さまには、V・ファアレン長崎に対してさらなるご声援を賜りますようお願いいたします。

## 人や産業、地域が輝く、元気あふれる 長崎づくりに向けて漕ぎ出す



長崎県知事  
中村法道

また、海洋県の優位性を生かした「ナガサキ・グリーンニューデール戦略」による洋上風力発電などの再生可能エネルギー分野における新産業の創出と地場産業の振興に力を注ぐとともに、長崎エビッツ

この一年が皆さまにとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈り申し上げます。